

質問①
市長マニフェストの今後の考えは

人口減少、地域間格差等、本市の課題が新聞等においても指摘されたが、どのような認識なのか。市政について、市民と対話を望む声がある。市長と語る会や、各団体、高齢者、若者等、幅広く時間をとり、意見交換会を実施すべきでは。地域間格差の是正に、地区公民館制度を実施するが、認知に課題もある。その目的、事業内容等を総括し、再度、市民に周知させる必要があるのではないか。

答弁①
安心・安全なまちづくりに努める

坂口 洋之 議員



政策については、日置市に元氣な風をふかせ、未来に輝く明日を目指す。地域間格差は、新聞報道もあり、行政運営に対する市民の声ととらえる。市長と語る会は、地区公民館単位で取り組んだが、今後も要請があった場合に積極的に取り組む。地区振興計画についても、各地域にさまざまな課題の解決と共に、政策実現に向けて、理解と協力を求める。

質問②
地域公共交通網形成計画の目的は何か

人口減少社会の中で、公共交通（路線バス・巡回バス・乗り合いタクシー）の利用状況はどうか。

高齢化社会の中で、公共交通の利便性を求め、目的地や自宅に近い場所での乗降を望む声があるが、市内の団地内やニシムタ等、利便性の高いバス停設置ができないか。

答弁②
公共交通政策のマスタープランである

持続可能で利便性の高い公共交通体系を構築していくため、市民・交通事業者・行政等の適切な役割分担が重要である。利用状況は、伊集院・吹上は利用が維持され、東市来・日吉は減少している。

利便性向上は、乗車時間、バス路線幅の問題など、事業者等との協議が必要で検証する。市内全体の巡回や、公施設・商業施設の拠点を結ぶ声もあるが、利用状況や財政負担も課題。



市内を巡回するゆすいんバス

質問①
地区公民館と行政の在り方は

①現在の伊集院地区公民館（31自治会、5556世帯、12920人）体制をより良く地域や住民のニーズに配慮されるように地域性を考慮して、運営機能を分ける分館を検討する必要があると考えるがどうか。
②小学校の統廃合における地区公民館体制については、どう考えるか。

答弁①
分館は考えていないが論議はしていく

①伊集院地区公民館では生活環境の違いにより7ブロックに分けて、地域毎に課題解決に向けた

佐多 申至 議員



取り組みが推進されている。現時点では分館は考えていないが、伊集院地区公民館は住民が多いので、12年間の反省も含め、市長と語る会等で担当者・自治会長等を交えて運営方法を論議していく。

②すでに閉校している扇尾小学校は、地区公民館として活用していく。統廃合計画中の日吉地域の各小学校跡地利用については、地区住民の意向を十分に尊重して活用策を見極めたい。地区公民館体制は、閉校後も地域振興の拠点の館として位置付けたい。

質問②
防災課設置・防災士資格取得への助成は

答弁②
連携を図り、地域防災会議を検討する

①防災体制は機動力を重視して総務課全体で捉えているので、防災課設置は考えていない。防災の専門知識を有する職員は育成していく。防災士補助金制度の実施予定はないが、地域防災体制の取り組みとして、自主防災組織の強化に努める中、市と県地域防災推進員と連携した会議等も含め、地区住民との地域毎の防災会議も検討していく。

①防災課を設置し、地域防災計画・地区防災計画に伴う専門知識を持つ職員の育成をしてほしい。防災士資格補助金制度など地域リーダーの推進地区住民や県地域防災推進員と連携した地区公民館単位の防災会議等が必要と考えるがどうか。



伊集院地区公民館



田畑 純二 議員

本市の観光政策は

質問①

①物産館などの観光資源を活用した、体験型バスターなど観光ルートの構築と結果は。

②スポーツ合宿の助成、観光PR、情報発信などの強化策と結果は。

また、事業の見直しは、
③付加価値の高い特産品の開発や販路拡大は、
④都市部からの交流人口拡大推進策は、
⑤外国人旅行者等に対する市ホームページ等の多言語化は。

答弁①

観光ルートの構築、外国人旅行者の対応

①昨年度は、観光資源

を活用した体験型バスツアーを6回実施し、一定の成果が出た。

②昨年度、148団体約900万円を助成。

本年度が事業最終年度のため、宿泊事業者等とも十分協議を行い検討。大河ドラマ「西郷どん」放映に伴い、観光PRや情報発信に努めている。

③特産品ブランド戦略事業に取り組み、本年度からは特産品の認定作業と販路拡大につながる事業を推進していく。

④日置市の味覚ツアーを企画し、交流人口の維持拡大に取り組んだ。

⑤ホームページの7カ国語更新対応や、拠点施設への公衆無線LAN整備など環境整備を行った。

質問②

スポーツ振興による地域づくりは

①スポーツ振興の現状は。

②今後の各種スポーツ施設の補修等の具体的計画は。

③2020年の東京五

輪・鹿児島国体への準備と期待は。

答弁② 継続した生涯スポーツの推進に取り組む

①スポーツを通じた市民の健康増進、生涯スポーツの推進を図る。

②改修が必要な物は有利な起債等を活用して、施設の長寿命化に対応。

③国体に向け実行委員会の設立、専門部会の組織づくりを行う。

一流アスリートの競技により、市民に夢と希望を与え活力ある地域づくりに期待。



三種公認の伊集院総合運動公園陸上競技場の全景



山口 初美 議員

県へ運営以降後の国保税はどうなるのか

質問①

高すぎる国保税が問題となる中、運営主体が来年4月に県へ移行するが、国保税はどうなるのか。

住民の負担はすでに限界を超えており、引き下げが必要である。

住民負担を軽くするため、市が独自に行っている一般会計からの法定外繰り入れはどうか。

県から納付金の額が示され保険税算出

答弁①

県から今年度中に、医療費水準や所得水準を考慮した標準保険料が示され、この納付金に見合った保険税を算

出する。

一般会計からの法定外繰り入れをなくすために、国からの公費拡充もなされているが、厳しい国保財政は続く予想される。

質問②

店舗リフォームの助成制度創設を

住宅リフォームの助成制度は好評であるが、店舗などのリフォーム工事に補助する制度を創設できないか。

現在、薩摩川内市・指宿市・志布志市・曾於市・奄美市・さつま町などで、それぞれのやり方で実施されており、地域経済の活性化策として有効と考え提案するがどうか。

現段階では考えていない

答弁②

市単独事業として、借入金に対する利子補充及び保証料の一部補助を実施しており、現段階では助成制度の創設は考えていない。

その他の質問

・原子力防災避難訓練で本市がスクリーニング(除染)の場所になったが、水の確保や放射能汚染水の排水処理はどうか。

・子ども医療費の高校卒業までの無料化、病院窓口での負担をなくすことについて県との連携は、
・小中学校給食費の無償化が半額補助を実施できないか。(県内でも南さつま市等で無償化を実施)



店舗リフォームの実例 (入口バリアフリー化)



黒田 澄子 議員

質問①
スクールバス・タクシー
活用の基準は

日置市地域公共交通網形成計画のスクールバス・スクールタクシーを利用できる児童生徒の根拠と、どこにうたってあるのかを示せ。

特認校の始良市北山小学校では地元児童3人で、特認校へ通学する際にスクールバスを活用し20人が通学、23人が学んでいるようだ。

市内18小学校中、半分の9校が複式学級でそのうち3校は完全複式となっている現状があり、ふれあい教室等に通う子どもたちも多くいる。統合との基準だけでなく、より活用すべきでは

答弁①
活用について今後、研究していく

義務教育諸学校等の国庫負担等に関する法律の通学距離に準じている。乗車定員が少ない場合、スクールタクシーを、またスクールバスは通学距離が小学校で4km以上、中学校で5km以上である。障害のある場合や特別支援学級の児童生徒など、通学が著しく困難と認められた者も対象となる。

質問②
市営住宅への共益費補助制度は

合併浄化槽設置の市営住宅はどのくらいあるか。合併浄化槽の管理費は住民が支払う訳だが空き戸数が発生すると、その分の負担もその他の住民が負担しており、空き部屋が増える事で負担が大きくなっている現状がある。

始良市ではこのようなことに対応し市営住宅等に係る共益費負担取扱要綱を定め、住民の負担軽減を図っているが、本市も同様にできないか。

答弁②
近隣市町を参考に要綱を定めたい

浄化槽設置住宅は42団地548戸で、空き戸数が増えることに伴い、合併浄化槽などの共益費の負担が増えることは公平性に欠けるため、今後検討する。

その他の質問

- ・ 認知症対策と成年後見人制度
- ・ 光回線の現状と計画は



吹上地域で運行しているスクールバス

まちのきまり 条例を一部改正しました

条例名	可決内容	賛否表（並松議員は議長のため、表決には参加しない）														結果							
		桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口(政)	樹中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口(初)	西園		門松	坂口	大園	漆島	田畑	池満	並松
日置市過疎地域産業開発促進条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市工場立地法地域準則条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市児童館条例工場立地法地域準則条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市都市公園条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市都市公園運動施設条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市立幼稚園保育料徴収条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

人事案件30件に同意



教育長
奥 善一 氏
全会一致



副市長
小園 義徳 氏
賛成 21 対 反対 1



監査委員
中村 尉司 氏
全会一致



監査委員
満尾 利親 氏
全会一致

教育委員会委員

比良 信幸 氏

公平委員会委員

湯田平 浩美 氏

固定資産評価審査委員会委員

住吉 伸一 氏
坂上 俊己 氏
岸之上 良一 氏
窪田 和洋 氏

固定資産評価員

上 秀人 氏

農業委員会委員は、これまで、選挙によって任命されていましたが、今回、農業委員会等に関する法律第8条第1項の改定により、市長が19人を選び、議会の同意を得て任命されました。

農業委員会委員

馬場 恵三郎 氏	田原 嘉治 氏
野元 政博 氏	東 芳男 氏
今屋 政市 氏	馬場 五男 氏
末永 義弘 氏	池田 澄弘 氏
濱村 義美 氏	奥 和俊 氏
池畑 正治 氏	今村 壽久 氏
重水 賢治 氏	迫 千穂子 氏
横山 義晴 氏	山口 義廣 氏
日高 格一 氏	久木田 洋子 氏
楠 眞憲 氏	

※副市長の選任は選挙による無記名投票により、賛成 21 対 反対 1 で同意

市民の願い 請願・陳情のゆくえ

「教育予算拡充に係る意見書採択の要請について」の請願書

【提出者】 山下 博司 氏（日吉町日置）
【紹介議員】 坂口 洋之

↓
全会一致で、一部採択されました。

「私の故郷、日置市を守って！病院への無料送迎を止めさせてください！！」
の陳情書

【提出者】 南 三津江 氏（日吉町吉利）

↓
全会一致で、不採択されました。

「議員定数の削減と報酬の改定について」の陳情書

【提出者】 涉 秀憲 氏（伊集院町妙円寺）

↓
全会一致で、不採択されました。

「安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める」陳情書

【提出者】 さよなら原発@日置の会 馬場 徳男 氏（吹上町中原）

↓
全会一致で、採択されました。

請願・陳情名	可決内容	賛否表(並松議員は議長のため、表決には参加しない)																					
		桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口(政)	樹	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口(初)	西園	門松	坂口	大園	漆島	田畑	池満	並松
教育予算拡充に係る意見書採択の要請について	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
“私の故郷、日置市を守って!病院への無料送迎を止めさせて下さい!!”	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
議員定数の削除と報酬の改定について	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

国へ意見書を提出しました

教育予算拡充に係る意見書

義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。その結果、自治体財政が圧迫され、非正規職員も増えています。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。

子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。こうした観点から、2018年度政府予算編成において、下記事項が実現されるよう強く要請いたします。

記

学校施設、教材、図書、安全対策など教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育国庫負担制度を堅持し、学習支援や複式学級への予算など、国の教育予算を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年7月11日

鹿児島県日置市議会議長 並松安文

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
文部科学大臣 松野 博一 様
財務大臣 麻生 太郎 様
総務大臣 高市 早苗 様

県知事へ意見書を提出しました

安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める意見書

川内原発が立地する薩摩川内市の南東方向にある日置市は、風下になった場合30km圏内に三分の一強が入る地域です。薩摩川内市では、原発から5km圏内には放射性ヨウ素を吸い込むことによる甲状腺がん発症を防ぐために、安定ヨウ素剤を事前に配布しています。3歳以上に対しては丸剤を、3歳未満にはゼリー状の安定ヨウ素剤です。

5km圏外については、事故発生後に配布するとされています。また、被ばくレベルが毎時20マイクロシーベルトを超えた場合、1週間以内に避難することになっています。道路が寸断された熊本地震を考えると、事故の際に安定ヨウ素剤を効き目がある時間内に飲めるのか不安があります。

島根県には中国電力の島根原発があり、まだ再稼働の審査中で運転に入っていませんが、昨年から30km圏内での希望者に事前配布を始めました。希望者は説明会に行き、安定ヨウ素剤を受け取るという仕組みです。そして経費は、国に申請し受け取って実施しています。

また、福島原発事故では、放射能汚染が30km地点を超え、50km圏内の飯舘村は全村民避難となりました。高浜原発から約50kmの兵庫県篠山市では、昨年からの希望者への事前配布を始めました。

薩摩川内市の南側に隣接するいちき串木野市では昨年の12月市議会へ、医師や歯科医師、薬剤師を含む659名の連名による陳情が提出、趣旨採択され、関係行政庁宛に安定ヨウ素剤の希望者への事前配布を求める意見書を提出しています。

また、出水市、阿久根市、始良市でも今年の3月議会で希望者への事前配布を求める知事宛の意見書が次々に採択されています。

出水市は半分、始良市は一部が30km圏内となりますが、両市とも市全域の希望者への事前配布を求める意見書となっています。

よって、鹿児島県知事に対し、次の事項について要望します。

記

安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を策定し、日置市での希望者へ配布を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年7月11日

鹿児島県日置市議会議長 並松安文

鹿児島県知事 三反園 訓 様

～ようこそ議場へ～



市内の小学生が社会科見学で、議場見学を行いました。

第49号の表紙

夏休み元気よく
スタート!

今回の表紙、日吉地域の吉利校区北区子ども会は、夏休みに毎朝みんなで元気にラジオ体操からスタートしています。

「今日は、何をして遊ぶのかな」「何から勉強しようかな」「自由研究は何に取り組もうかな」

長い夏休みの過ごし方を考えながら、今日も元気に活動しています。



平成29年 第4回定例会 会期日程(案)

- 9月7日 開会
-
- 9月8～12日 各常任委員会
-
- 9月15・19・20日 一般質問
-
- 9月28日 閉会

都合により変更になる場合もありますのでご了承ください。

編集後記

今議会定例会の最終日、7月11日の会議中に突然おこった地震に、議場には緊張が走り一同、固唾を呑みました。

防災関係職員が、担当部署に急行するも、幸いにして大きな被害はないとの、市長からの報告を聞き、会議は再開されました。

災害が起こらないことが一番の願いですが、防災事業について今一度、考える出来事でした。

(是枝)

《発行責任者》

議長 並松 安文

《編集責任》

広報編集委員会

委員長 橋口 正人

副委員長 是枝みゆき

委員 黒田 澄子

山口 政夫

佐多 申至

桃北 勇一